

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森 森のほし			
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法活動・自然を取り入れた療育活動の施行	専門的知識のある音楽療法士配置の元、お子様の様子や発達を細かく観察し、個々に合わせたアプローチをしている事。会社が所有する森で安全に配慮をしながら自然遊びを行い、運動面、感覚面、コミュニケーション面の発達などを促していけるようにフィールドワークやアスレチック遊具の設置、焼き芋等のイベント等様々な取り組みを行っている。	職員間でもお子様の情報共有を丁寧に行いながら支援方法を話し合い、専門的知識を身に付けていく。地域との繋がりが持てるように、年に数回のイベントを行っていく。
2	送迎サービスの実地	事業所が所有する車にて、午前中ご自宅や園へお子様を送迎へ伺っている。安全・安心をモットーに丁寧な運転を心掛けている。乗車点検を毎回行い記録をしていると共に、置き去り防止装置を設置し、事故などが起きないように乗車・降車の際は細心の注意を払っている。	引き続き車の点検等入念に行いながら、道路状況（工事で通行止め・狭い道等）の情報共有を行う。定期的に乗車マニュアルを再度職員間で確認を行う。
3	システムを利用して、保護者との連絡や相談、情報共有を細目に行うことができる	日々の活動の様子を写真とコメントでを添付し、より分かりやすく伝えていくと共に、疑問や悩みに早急に対応していけるよう個別連絡でのやり取りを丁寧に行っている。	活動予定を事前に周知できるようにHUGを活用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室がない為、パニックや不穏な状況の際に静かで安全に過ごせる場所がない。	相談室を併設しているが、療育活動で使用する運動器具や個別ワークの収納スペースと一緒にになっている為、スペースが限られてしまっている。	個室を増設、もしくは収納スペースの確保。
2	室内の収納スペースの確保が不十分。	収納スペースが少ない為、療育活動で使用する物の保管場所に困る。	定期的に片付けを行う。倉庫の増設。
3	地域の方、事業所以外で他のお子さんと活動する機会が少ない。	地域の方との接点が少ない。	会社が保有する山・カフェでのイベントを開催し、地域の方や他の園のお子さんとの交流を深める。